

# 会 議 録

新庄市教育委員会

開催月日	令和6年9月30日(月)
開催場所	新庄市役所 301・302 会議室
出席委員	津田浩教育長、栗田正人委員、阿部浩悦委員、斉藤浩昭委員、奥山京子委員
欠席委員	なし
出席課長	渡辺政紀教育次長兼教育総務課長、今田新社会教育課長
欠席課長	杉沼一史学校教育課長(三原恵主幹が代理出席)
議 事 の 大 要	

午後2時00分より、教育長のあいさつで、9月定例教育委員会を開会する。

## 1. 開会

津田浩教育長のあいさつで開会する。

## 2. 会期決定

会期を9月30日、1日とする。

## 3. 会議録署名委員指名

新庄市教育委員会会議規則第19条第2項の規定に基づき、教育長が阿部浩悦委員と斉藤浩昭委員を指名する。

## 4. 前回会議録の承認

令和6年8月定例教育委員会の会議録が承認される。

## 5. 教育長報告

(1) 令和6年9月市議会定例会における教育関係一般質問の概要について

(教育長)「令和6年9月市議会定例会における教育関係一般質問の概要について」私から報告します。

はじめに、山科正仁議員より4つの質問をいただきました。1つ目の「タブレットの活用状況やオンライン授業の実施などの具体的な取り組みの進捗と成果について伺う」という質問に対し、「タブレットについては、授業の中で小テストや振り返りなどで活用している。自身の学習がどのように蓄積されたのかを確認していくことができるという強みがあると考えている。また、教科書についている二次元コードをタブレットで読み込み、資料や動画を確認できるようになっている。授業では、それを用いて補足説明を行っている。オンライン授業については、一部の学校において、インフルエンザやコロナウイルス感染症などで出席できないときに、定点カメラで撮った授業を配信することで、自宅での学習を可能にしている。そのような工夫により、欠席した日の授業に参加できるような仕組みを考えてまいります」と回答しました。2つ目に「ICT教育に馴染めずに遅れをとる子どもへのフォロー体制はどのようにしているのか伺う」という質問をいただきました。これ

に対し、「ICTに馴染めない児童生徒はあまり見受けられない状況であるが、タブレットの操作に苦手意識がある児童生徒に対しては、ペア学習やグループ学習の中でお互いに教え合ったり、個別学習指導員やICT支援員によるサポートを行うことで学習に取り組んでいる」と答弁しました。3つ目の「特別支援教育に関する市の方針や具体的な取り組みを伺う」という質問に対し、「本人や保護者の申し出に応じて、特別支援学級なども開設しながら丁寧に対応しているところである。また、障がいのあるなしに関わらず、すべての子どもがともに学び、認め合うインクルーシブ教育も積極的に取り入れている。また『特別支援教育センター』を設置し、学校支援や幼稚園、保育所等への訪問、関係機関との連携や個別検査の実施など、様々なことを行っている。児童生徒数が減少している一方で、特別な配慮を要する子どもの数は増加傾向にあるため、今後も関係機関の協力を得ながら、特別支援教育の充実に努めてまいりたいと考えている」と答弁しました。4つ目に「教師の長時間労働改善に向けた働き方改革の取り組みについて伺う」という質問をいただき、「本市において、令和5年度の教員の時間外勤務は、小中学校ともにここ数年で最も少ない時間数であり、県で目安としている45時間を下回る結果となっている。今後は、さらなる業務の見直し等を進め、保護者や地域の方々の理解を得ながら、教員の長時間労働改善に向けて取り組んでまいりたい」と答弁しました。

続いて、渡部正七議員から、「時代とともにスポーツも進化が求められており、アーバンスポーツがオリンピック以降を注目されている。アーバンスポーツに対する理解を深める活動や普及推進、施設等の整備について見解を伺う」という質問をいただき、アーバンスポーツは総じて競技人口がまだ少なく、認知度も低いという中であるが、その楽しさや魅力を広めていくため、体験などができる機会作りをスタートすることが重要と考えている。まずは、情報の収集に努めてまいる」と答弁しました。

続いて、小嶋富弥議員より3つの質問をいただきました。はじめに「今年度の全国学力・学習状況調査の結果について伺う」という質問をいただき、「小学6年生の国語、算数、中学3年生の国語、数学ともに全国平均を下回るという結果となった。習得した知識や技能を活用することや、適切に表現することがやや弱い傾向にあると分析したところである。学習状況調査の中で特徴的だったこととして、ゲームやSNS、動画視聴に時間を使う割合が、全国に比較して高いということだ。また、家庭学習に長時間取り組む児童生徒の割合が低く、1時間以下の割合が非常に高い。学習におけるICT機器の活用が、小学校では全国に比べて少ないという結果となった。調査の結果を受けて、学校での指導に反映させていきたいと考えている」と答弁しました。次に「学習用端末の利用を巡って、子どもの個人情報民間事業者が直接管理されていることが一部自治体で判明して問題になっているとあったが、当市の実態を伺う」という質問をいただきました。この問題というのは、タブレットに入っている学習アプリに対して、教育委員会を通さずに個人や家庭が直接登録を行ったことで、登録先へ様々なものが届くという事案であります。他自治体で起こった問題でございます。議員からの質問に対し、「本市においては、市が主体となって管理を行っており、民間事業者が個人情報を直接取得している事実はない」と答弁しました。3つ目の質問について「学校の健康診断での脱衣に対して疑問の声が挙がっているが、市における見解を伺う」という質問をいただき、「本市については検診を待つ間は体操着の状態、検診を受ける際にはパーテーションやカーテンで仕切って他の児童生徒には見えないよう工夫している」と答弁を行いました。また、答弁の後に追加で質問をいただき、これに対しては学校教育課長が「脱衣の必要性は医師の判断の基に行っている。児童生徒の骨格の発達状況や痣の有無などを脱衣のうえ確認している。今後も保護者の理解

を得ながら適切な健康診断が実施されるよう取り組む」と答弁しました。

続いて、山科晴美議員から2つの質問をいただきました。1つ目に「日本に移住してこられる外国人が増えているが、日本語指導を必要とする児童生徒への対応や状況を伺う」という質問をいただき、「移住してこられた児童生徒については、日本語の能力に合わせて必要な支援を行ってきた。個別学習指導員が横について丁寧の説明したり、母国語での支援が必要な場合には臨時語学支援員として学校に配置した例もある。今後も必要に応じて万全の体制をしていく」と答弁しました。2つ目に「文化会館について、収容人数が1,000名であるが、駐車場が不足している。問題解消に向けた今後の市の対応を伺う」という質問をいただきました。これに対し「障がい者用駐車スペース4台分と、174台分の駐車場を確保しているが、大規模なイベントが開催される場合には検診センターや市民プラザ、市役所や駅東口の駐車場など、様々なところを紹介し対応している。関係機関と調整しながら、駐車場確保に向けて検討してまいります」と答弁しました。

続いて、坂本健太郎議員より2つの質問をいただきました。1つ目の「教育機会確保法における不登校の子どもに対する教育機会の確保に係る事項として、市の考え方や施策を伺う」という質問に対し、「本市は教育相談室の中に適応指導教室を置き、教育機会の確保を行っている。しかし、ここに通うことができる児童生徒も限られているため、教育機会の確保としてはまだ足りていないと認識している。不登校の子どもに対する教育の機会や、安心して通える居場所を確保するには、フリースクールや学びの多様な学校なども必要と言われており、実現のためには周辺自治体や民間との連携も必要と考えている。今後もニーズを調査し、先進事例や民間等との連携について研究を進めていく」と答弁しました。2つ目の「若者のひきこもり、社会適用に対する支援について伺う」という質問に対しましては「効果的で円滑な支援を図るため、関係機関と連携した支援を行っているところである。今後もきめの細かい切れ目のない対応が重要であると認識している。教育委員会内にある最上広域青少年指導センターにおいて青少年の自立支援のほか、就労や高校再チャレンジを考えている青少年や、社会参加に不安を持つ若者を対象とした相談活動を行っている。今後とも、様々な関係機関と連携した支援を行っていく」と答弁しました。

続いて、亀井博人議員から「築年数が30年以上経過しているスポーツ施設について、計画的な修繕を実施し、良質な施設で使い勝手をより向上させることが必要だ。トイレの洋式化、雨漏りなどの不具合への対応はどのような計画で進めていく予定か伺う」という質問をいただき、「トイレの洋式化について、昭和54年建築の武道館が特に進んでおらず、早期の改修に向けて取り組みを進める。また、雨漏りといった不具合が顕著である野球場、陸上競技場の管理棟については、環境改善が図られる修繕計画を策定した後、改修工事を計画的に行っていきたい」と答弁しました。

続いて、辺見孝太議員から「新庄ふるさと歴史センターに新庄まつりで優秀山車に選ばれた2台の山車が展示されているが、様々な角度から山車を評価し、表彰を増やすなどといった考えはないか伺う」という質問をいただき、「新庄ふるさと歴史センターで展示している山車は、歌舞伎部門・物語部門の選考会により選出したものである。また、各若連の代表者によって選ばれた1台を最上広域交流センターゆめりあに展示している。なお、ご提案いただいた表彰について、山車製作者の意欲向上に資するものであると認識している。表彰の実施主体や選考方法など、新庄まつり関係団体の意向も確認しながら研究してまいりたい」と答弁しました。

最後に、佐藤悦子議員から2つの質問をいただきました。1つ目に「地元農産物の給食への利用拡大のため、調理の直営や給食用の加工所設置を検討してはどうか」という質問をいただき、「現在も地産地消推進の観点から、できるだけ地元で育ったものを地元の小売店から購入して使用して

いる。なお、現時点で調理の直営化や給食用加工場の設置は考えていないが、地元産農産物の使用は可能な限り継続してまいりたい」と答弁しました。2つ目に「有機農業への支援を強め、有機米を毎日提供してはどうか」というご提案をいただき、「昨年度は市内生産者から有機米給食を全校に対して行ったが、有機米は確保が難しく値段が高いことから現時点で学校給食での有機米の使用は難しい」と答弁しました。

(教育長) 只今の説明について質問があればお願いします。

(委員) 質問なし

## 6. 議事

議案第 49 号 令和 6 年度 9 月補正予算 (第 2 号) に係る臨時代理の承認について

(教育長) 議案第 49 号「令和 6 年度 9 月補正予算 (第 2 号) に係る臨時代理の承認について」提案説明をお願いします。

(社会教育課長) 議案第 49 号「令和 6 年度 9 月補正予算 (第 2 号) に係る臨時代理の承認について」ご説明申し上げます。歳出につきまして、社会体育費に 125 万 2 千円の増額要求をしております。新庄市国際スポーツ交流実行委員会負担金であり、7 月定例教育委員会でご説明させていただいておりました新庄市立小学校台湾スポーツ交流事業を 7 月 25 日からの大雨災害により渡航延期しておりましたが、再度検討を行い、相手方や関係機関との調整を進めております。補正予算要求額 125 万 2 千円につきましては、7 月に渡航を中止し、キャンセル料等の支払いがございまして、11 月に渡航する際に必要な額を計上いたしました。なお、11 月の渡航する児童につきましては従前に申し込んでいた 20 名であり、都合の限り参加していただくこととして準備を進めております。

(教育長) 只今の説明についてご質問、ご意見があればお願いします。特にご異議がなければ承認をお願いします。

(委員) 異議なし

(教育長) 議案第 49 号「令和 6 年度 9 月補正予算 (第 2 号) に係る臨時代理の承認について」は提案のとおり承認されました。

## 7. その他

なし

## 8. 閉会

午後 2 時 31 分、9 月の定例教育委員会を閉会する。

10 月定例教育委員会を、10 月 21 日 (月) 午後 2 時 00 分より市役所 301・302 会議室で開催することを確認した。

会議録署名

委 員 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_

調製した職員 \_\_\_\_\_